

南ア月報  
(2022年3月)

【内政】

- ゾンド副主席判事、次期主席判事へ
- 国家的災害事態の延長
- 「調整された警戒レベル1」の規制の一部変更

【外政】

- 国連総会における対露非難決議案
- 南ア・露首脳電話会談
- 第3回南ア・モザンビーク二国間委員会
- レツィレ3世レソト国王の南ア訪問
- 南ア・中国首脳電話会談
- 国連総会におけるウクライナ人道状況に関する決議案
- ラマポーザ大統領の UAE 訪問

【経済】

<経済指標>

- 製造業生産高
- 鉱業生産高
- GDP 成長率
- 失業率

<出来事>

- 南ア準備銀行 (SARB) が政策金利を 4.25% に引上げ
- 第4回南ア投資会議の開催
- アスペン (Aspen) 社、ジョンソン・エンド・ジョンソン (J&J) 社と COVID-19 ワクチン「Aspenovax」製造・販売の契約を締結

【警備】

- 南ア治安情勢 (邦人に対する犯罪発生)

## 1 内政

### ●ゾンド副主席判事、次期主席判事へ

10日、ラマポーザ大統領は、ゾンド副主席判事を次期主席判事として指名した。

### ●国家的災害事態の延長

15日、南ア政府は国家的災害事態（the national state of disaster）の1ヵ月延長（2022年4月15日まで）を発表した。

### ●「調整された警戒レベル1」の規制の一部変更

22日、ラマポーザ大統領は演説を行い、「調整された警戒レベル1」に係る規制の一部変更（入出国時の要件緩和等）について発表した。

## 2 外政

### ●国連総会における対露非難決議案

2日、南アは、国連緊急特別会合で提出された対露非難決議案を棄権した。

### ●南ア・露首脳電話会談

10日、ラマポーザ大統領は、プーチン露大統領と電話会談を実施した。ラマポーザ大統領からは、露とウクライナ間で発生している紛争に関する南アの立場を概説し、同紛争を当事者による仲介と交渉により解決されるべきとの考えを伝えた。

### ●第3回南ア・モザンビーク二国間委員会

11日、プレトリアにおいて南ア・モザンビーク二国間委員会が開催され、ラマポーザ大統領、ニュシ・モザンビーク大統領が参加した。同委員会は2011年に首脳級会合へと格上げされ、今回で第3回目の開催。

### ●レツィレ3世レソト国王の南ア訪問

18日、レツィレ3世国王はラマポーザ大統領とプレトリアに所在する同大統領の公邸にて面会し、南ア・レソト二国間関係について意見交換を行った。

### ●南ア・中国首脳電話会談

18日、ラマポーザ大統領は習近平国家主席と電話会談を実施した。両首脳は、世界的に重要な複数課題に関して意見交換と現下のウクライナ情勢に関して、永続的な平和を探究する必要性について話し合い、また、BRICS及びG20が安定した世界秩序と世界全体が公平な回復を実現するための役割について話し合った。

### ●国連総会におけるウクライナ人道状況に関する決議案

24日、南アは、国連緊急特別会合に提出されたウクライナ人道状況に関する決議案を棄権した。

### ●ラマポーザ大統領のUAE訪問

28日、ラマポーザ大統領はドバイ万博のパビリオン訪問及び同万博における南ア・デー（3月28日）に参加した。同日、ラマポーザ大統領はムハンマド・ドバイ首長兼連邦副大臣兼首相と面会し、南ア・UAE二国間関係について意見交換を行った。

### 3 経済

#### <経済指標>

##### ●消費者物価

2022年1月の年間消費者物価インフレーション率は5.7%で前月(5.7%)から横ばい。消費者物価指数(CPI)は前月から0.6%上昇した。(南ア統計局、3月23日)

##### ●為替レート

2021年3月31日付(南ア準備銀行)

8.4209 ランド/円

14.4705 ランド/米ドル

16.1071 ランド/ユーロ

##### ●製造業生産高

2022年1月の製造業は、前年同月比2.9%増。主なプラス要因は、食料品及び飲料で11.5%増。木材及び木材製品、紙、出版及び印刷で6.8%増。鉄鋼、非金属製品、金属製品及び機械で3.2%増。

また過去3ヶ月(2021年11月～2022年1月)の季節調節後生産高は2021年8月～10月の3ヶ月から4.0%増。製造業10部門中の9つの部門で生産高増となった。(南ア統計局、3月10日)

##### ●鉱業生産高

2022年1月の鉱業生産高は、前年同月比0.1%増。主なプラス要因は、マンガン鉱石で19.6%増、金で7.0%増、ダイヤモンドで16.3%増。

また過去3ヶ月(2021年11月～2022年1月)の季節調節後生産高は2021年8月～10月の3ヶ月から4.9%増となった。(南ア統計局、3月10日)

##### ●GDP成長率

南ア統計局は、2021年第4四半期(10月～12月)のGDP成長率を発表。第3四半期との前期比プラス1.2%となった。また、2021年のGDP成長率は、前年(2020年)と比較し、プラス4.9%。(南ア統計局、3月8日)

##### ●失業率

南ア統計局は、2021年第4四半期の失業率を35.3%と発表。今期失業率(35.3%)は、前期(2021年第3四半期)の失業率(34.9%)を更新し、2008年の当局統計開始以降で最も高い数値となった。背景として、第3四半期から第4四半期にかけて、「経済的非活動者(not economically active)」(失職中かつ求職活動を行っていない者)が39.7万人減少している点は考慮する必要があると考えられる。つまり、「失業者」(失職中かつ求職活動を行っている者)、「就労者」双方とも人数は増加しており、今般の失業率の上昇は、就労者の失職よりも、経済的非活動者が求職活動を開始したことにより起る部分が大いと考えられる。(南ア統計局、3月29日)

#### <出来事>

##### ●南ア準備銀行(SARB)が政策金利を4.25%に引上げ

24日、南ア準備銀行は、金融政策決定会合を開き、前回会合時(1月)に続けて、本会合においても利上げを決定し、3会合連続での利上げとなった。これまでの4.00%か

ら 0.25 ポイント引き上げて、3 月 25 日から 4.25%となった。また、2022 年のインフレ率を 5.8%、GDP 成長率を 2.0%と予想した。

#### ●第 4 回南ア投資会議の開催

24 日、南ア政府は、第 4 回投資会議を開催した。今回、80 社が投資を約束し、その額は合計 3,320 億ランドであった。これにより、過去 4 回の投資会議における投資プレッジは総計 1.14 兆ランドとなり、4 年前に掲げた 5 年間で 1.2 兆ランドの投資を呼び込むという目標の 95%が達成されたことになる。

#### ●アスペン (Aspen) 社、ジョンソン・エンド・ジョンソン (J&J) 社と COVID-19 ワクチン「Aspenovax」製造・販売の契約を締結

アスペン社は、J&J 社と、アスペンブランドの COVID-19 ワクチン「Aspenovax」をアフリカ全域で製造・販売する契約を締結した。この契約により、アスペン社は J&J 社から供給された原薬から完成品の Aspenovax を製造する権利を得た。また、アスペン社はアフリカにおいて、政府や特定の団体に Aspenovax を販売できる。この契約により、アスペン社は J&J 社の知的財産を確保し、新規変異株 やブースター用に開発されたワクチンなど、J&J 社製ワクチンの新しいバージョンも含まれている。この契約は 2026 年末に終了する。

## 4 警備

#### ●南ア治安情勢（邦人に対する犯罪発生）

14 日昼頃、邦人 2 名が強盗事件の被害に遭った。同人らはプレトリア方面に N4 を走行中（北西州とハウテン州境付近にある Pelindaba 料金所から数キロ先）、セダン車に幅寄せされ、乗車していた警察を名乗る男（警察の ID らしき物を提示）が停車を求めたため、路肩に停車したところ、警察を名乗った男らに脅され、所持品を奪われてクレジットカードなどの暗証番号を教えるよう強要された上、犯人の車に乗せられて 4 時間近く連れ回された後、見知らぬ場所で解放された。

については、警察を名乗る者などから停車を求められた際は以下のように慎重に対応し、安全対策を講じる必要がある。

- ①一見警察車両と思えるような青色のライトを点灯させた車（当地の警察車両は青色ライトを使用）や警察を名乗る者に身に覚えのない停車を求められた際は、偽警察官による強盗である可能性を念頭に慎重に対応する。
- ②ハザードランプを点灯させながら、警察署、警備員のいるガソリンスタンドなど安全が確保できる場所まで移動する。閑散とした道路の場合は、一旦大通りまで出る。
- ③警察や契約警備会社などに通報し応援を求める。
- ④警察と判断した場合であっても、確証を得るまでは、ドアや窓を安易に開けずロックしておく、会話のため窓を開ける必要があれば最小限とする、相手に身分証の提示を求めるなど慎重に対応する。